

NEWSPAPER OF ARCHAEOLOGICAL SOCIETY IN EHIME, JAPAN

ISSN 2186-3814

い せ き

791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 1108-3

TEL 089-905-2925 そがめ塾気付 遺跡発行会

Eメール walked-metan@memoad.jp

郵便振替口座 01640-0-132658

ニュースレター第194号(12月号) 2024(令和6)年12月1日 遺跡発行会

編集・発行 十亀幸雄

◎研究レポート

The Konpira signpost" converted it

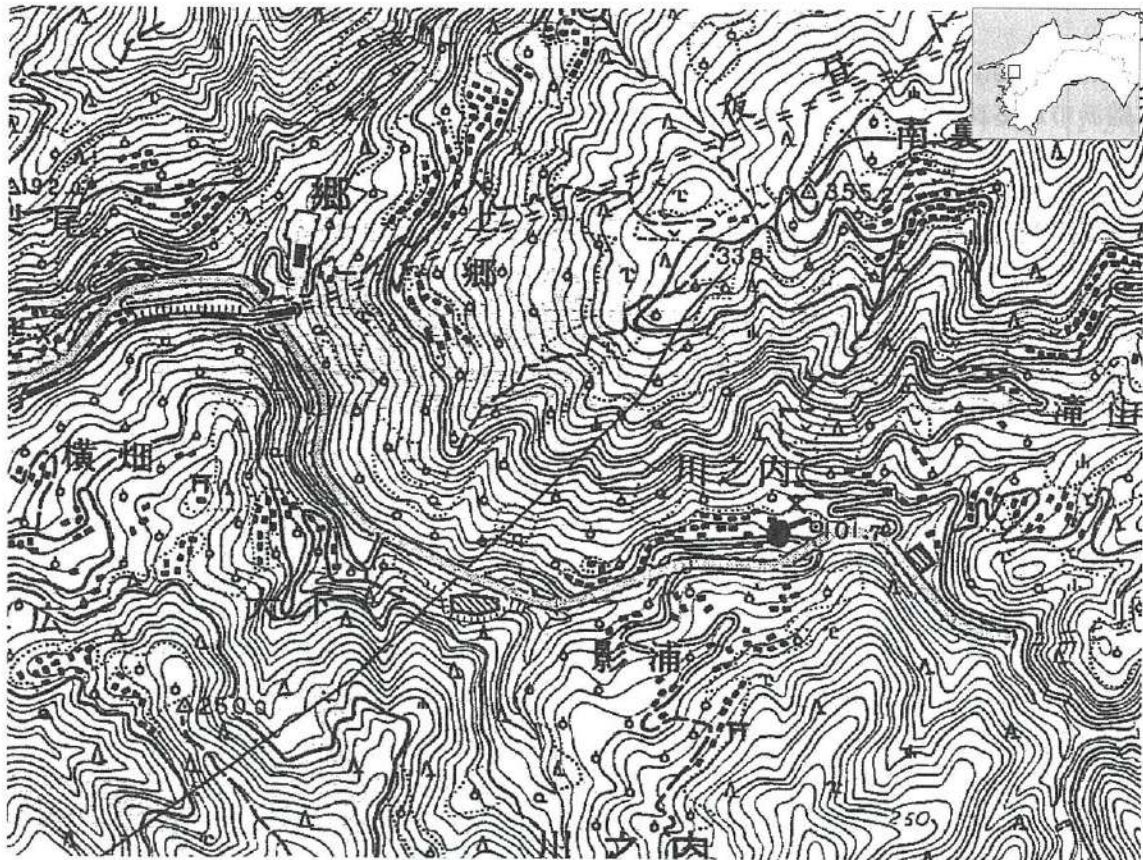
転用したと見られる「こんひら道標」

清水 真一

はじめに

ある道標の存在で、見えにくかった「こんひら道標」の存在がはっきりしてきた。過去には「八幡浜地方の道標」を八幡浜史談会の松田 守氏が研究し(註1)、愛媛県教委の発行した『八幡浜街道』でも道標そのものを調査しているが(註2)、単独には「こんびら道標」を取り上げず、道標全部を見ての解釈なので、今回この場を借りて改めて考察したい。

「こんひら」とは、江戸時代には「ぱびふ」を「はひふ」と表現しており、現実には各道標には「こんひら」と書かれるものが多い。



第1図 八幡浜市川之内道標位置図 (1/25,000 ●印)

- ・2月例会 2月16日(日) 10:00～ 会場:そがめ塾
- ・3月例会 3月23日(日) 古墳測量(天候により変更する場合あり)
- ・5月例会 5月11日(日) 10:00～ 会場:そがめ塾
- ・7月例会 7月13日(日) 10:00～ 会場:そがめ塾
- ・9月例会 9月14日(日) 10:00～ 会場:そがめ塾
- ・11月例会 11月9日(日) 10:00～ 会場:そがめ塾
- ・12月例会 12月29日(月) 10:00～ 会場:そがめ塾(例会及び巡検・忘年会)

(2) 下記のとおり各会員から発表がありました。

- ① 名本二六雄 「この鏡はどこから出たのか？」
- ② 正岡睦夫 「史跡熊山遺跡の保存処理と調査」
- ③ 清水真一 「笠置峠の「地蔵道標」について」
- ④ 十亀幸雄 「松山市金毘羅山遺跡の小型壺」

2、次回例会予定日について

12月29日(日)に下記のとおり例会及び巡検・忘年会を予定しています。詳細につきましては、12月のニュースレターでお知らせします。

- ・10:00～ 例会(会場:そがめ塾)
- ・午後 巡検
- ・夕方 忘年会(会場:「ぶらぶらある記」 JR松山駅北側)

(報告 山之内志郎)

1 2月例会のご案内

上に記載のように12月例会・巡検・忘年会を開催します。よろしくご参集下さい。

12月例会

日時 2024年12月29日(日) 午前10時から

場所 愛媛県砥部町 そがめ塾 (tel 089-905-2925)

- (1) 事務局 ①『遺跡』第57号発行について
②3月古墳墳丘測量について

- (2) 発表 ①名本二六雄 未定

②十亀幸雄「近世伊予石工の尾道石造物受容と其の固有性多様性」ニュースレター193号
その他の方の発表は交渉中。当日の発表、歓迎します。

巡検 14:00～16:30 「松山市浅海地区の古墳を巡る」

忘年会 18:00～20:00 会場 JR松山駅北「ぶらぶらある記」

第194号 目次

転用したと見られる「こんひら道標」	清水真一	1
松山市金毘羅山遺跡の小型壺—胞衣納めの検証—	十亀幸雄	6
愛媛東中南博物館インフォ 12月	会所	5
会所だより	会所	15